

氏名	東 宏行	部署	共通教育科	職名	教授
研究分野	教育学、臨床教育学				
学位	修士（教育学）				
学歴	1991年3月東京大学大学院教育学研究科教育学専攻（修士課程）修了、1996年3月東京大学大学院教育学研究科総合教育学専攻（博士課程）単位取得退学				
経歴	2002年4月放送大学大学院客員助教授（2011年より客員教授）、2005年10月長野県短期大学助教授（幼児教育学科）、2006年10月埼玉県立大学保健医療福祉学部助教授（2007年4月より准教授、2009年4月より埼玉県立大学大学院准教授を兼任、2011年4月より現職）				
所属学会（役職）	日本教育学会、教育心理学会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	新時代の生徒指導	共著	あり	放送大学教育振興会、p.336	東宏行、伊東毅	2023年3月
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	子どもの登校に前向きになれない保護者	単著	なし		心とからだの健康； 2022年12月号； pp.73-75 ISBN：978-4-7797-0587-8	東宏行
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	科学研究費助成事業基盤研究（C）			学校臨床問題における保護者と教師の連携プロセス-中間施設と専門職の役割-（研究代表者）	研究代表者	2018年度～2023年度
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	教育学①	○	15	教養科目として、現代の教育問題を幅広く取り上げる講義を行った。		
2	カウンセリング技法①	○	1	科目責任者として、全10クラスの教育の質を維持する工夫をした。		
3	カウンセリング技法②	○	15	同上		
4	カウンセリング技法③	○	1	同上		
5	カウンセリング技法④	○	1	同上		
6	カウンセリング技法⑤	○	15	同上		
7	カウンセリング技法⑥	○	1	同上		
8	カウンセリング技法⑦	○	1	同上		
9	カウンセリング技法⑧	○	1	同上		
10	カウンセリング技法⑨	○	1	同上		
11	カウンセリング技法⑩	○	1	同上		

12	教育原理及び教育制度	○	15	教職課程の科目として、教職教養の全体像が分かるように配慮した。		
13	生徒指導論	○	15	教職課程の集中講義科目として、ジクソー法によるワークを実施した。		
14	健康支援カウンセリング論		8	大学院博士前期課程の科目。対面授業で実施した。		
15	看護学教育論		2	大学院博士前期課程の科目。教育領域の講義をONLINEで実施した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	教職総合演習	○	15	教職課程の集中講義科目として、遠隔を含めた多様な方法で実施した。		
(3) 実習						
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	養護実習		2022.4～2022.10	研究授業の参観、実習訪問指導。		
2	ヒューマンケア体験実習		2022.4～2022.10	2施設の指導を担当した。対面指導の他、Teamsを活用した。		
(4) 論文指導						
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数			
1	卒業研究（看護学科）	2022.4～2022.12	主指導	1名	副指導	0名
(5) その他						
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	教職課程履修者の課外講座、履修カルテ面接等	2022.4～2023.3	教員採用試験対策講座、履修カルテ面接・小論文講座等の企画・実施			
4. 社会貢献活動						
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師						
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ			開催年月
1	院内看護研究指導	川口市立医療センター	院内看護研究の指導および講評			2022.4 ～2023.3
2	新採用職員ストレスマネジメント研修	川口市立医療センター	ストレスを回避するコミュニケーション力を身につけるーくじけない心を育てるためのストレスマネジメント			2022.5
3	東京都渋谷区生徒指導担当者研修	渋谷区教育委員会	不登校児童生徒の心の理解、学校組織全体で取り組む不登校対応、将来を見据えた支援			2022.5
4	八洲学園高等学校新宿キャンパス講演会	八洲学園	不登校の子どもを支える待ち方と促し方～個々の状態に合わせた関わり方のコツ～			2022.5
5	埼玉県戸田市サポートルーム研修会	戸田市教育委員会	サポートルームの活動に関する研修講師、助言者			2022.6
6	埼玉県看護専任教員養成講習会	埼玉県看護協会	「教育原理」の講習			2022.6 ～2022.7
7	神奈川県海老名市海老名小学校校内研修	海老名小学校	家庭環境の理解と保護者対応についてー不登校児童数増加の中でー			2022.7
8	東京都練馬区学校教育相談研修	練馬区学校教育支援センター	児童理解と対応（不登校）～不登校の質的变化・待ち方と促し方・保護者との関係			2022.7
9	茨城県不登校対応研修講座	茨城県教育委員会	不登校児童生徒の理解と支援ー不登校の質的变化・待ち方と促し方			2022.8
10	香川県ひきこもり対策研修会・思春期精神保健研修会	香川県精神保健福祉センター	不登校対応における待ち方と促し方～子どもの心情理解と保護者とのかかわり～			2022.8
11	埼玉県南部保健所ひきこもり公開講座	南部保健所	ひきこもりの理解と対応を考えるーコロナ禍の孤立とひきこもり問題			2022.9
12	埼玉県松伏保健所職員研修	松伏保健所	ひきこもりの理解と相談対応のコツ			2022.9
13	埼玉県生徒指導・教育相談上級研修会	埼玉県立総合教育センター	ここが大切『不登校』の未然防止			2022.9
14	埼玉未来大学（春日部学園）	公益財団法人いきいき埼玉	心をつなぐコミュニケーション			2022.10
15	埼玉県戸田市総合的な不登校対策会議	戸田市教育委員会	不登校の理解と支援の在り方について			2022.10

16	名古屋市中堅教諭等資質向上研修〔10年研〕	名古屋市教育センター	発達障害の可能性のある子どもの理解と支援 ー学校でのリスクの高い子どもへの対応等についてー	2022.10
17	さいたま市子育て学習会	さいたま市教育委員会	学校に行きたがらない子ども（不登校）を支える待ち方と促し方	2022.11
18	エデュケーションナース（EdNs）研修	自治医大さいたま医療センター	教育、学習に関する基礎知識	2022.11
19	看護学生実習指導者講習会	埼玉県看護協会	「教育原理」の講習と演習	2022.11 ～2022.12
20	海老名市教育セミナー	海老名市教育支援センター	子どもが「学校に行きたくない」と言ったときの関わり方 ー不登校の子ども年齢や時期に合わせた待ち方・促し方	2023.2
21	埼玉県看護学生研究発表会	埼玉県高等看護学校教務主任協議会	研究発表会の講評	2023.2

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県春日部保健所	ひきこもり専門相談員	2022.4～2023.3
2	埼玉県加須市いじめ問題再調査委員会	委員	2022.4～2023.3
3	埼玉県越谷市越谷市自殺対策連絡協議会	会長	2022.4～2023.3
4	埼玉県越谷市教育委員会	教育委員	2022.4～2023.3
5	公益財団法人子ども教育支援財団	顧問（兼カウンセラー）	2022.4～2023.3
6	埼玉県吉川市若者支援の在り方検討会議	会長	2022.6～2023.3
7	埼玉県戸田市総合的な不登校対策会議「ぱれっとラボ」	研究員	2022.10～2023.3
8	埼玉県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム検討委員会	委員	2022.11～2023.3

(3) ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		

(4) その他

	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			

5. 学内運営

	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター（副センター長）	2022.4～2023.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	入試委員	2022.4～2023.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント相談員	2022.4～2023.3
4	大学広報活動	オープンキャンパス教職説明会	2022.6～2023.8
5	学生支援	教員採用試験に関する指導及び相談	2022.4～2023.3
6	学生支援	教職ホームカミングデー及び教職課程卒業生の相談対応	2022.4～2023.3

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

7. 特許の取得

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8. 特記事項

1	該当なし
---	------